

## 1 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

|         |                  |            |             |
|---------|------------------|------------|-------------|
| 事業所番号   | 3471900100       |            |             |
| 法人名     | 有限会社 ブレイクスルー     |            |             |
| 事業所名    | グループホーム楽居        |            |             |
| 所在地     | 広島県三次市南畑敷町488番地3 |            |             |
| 自己評価作成日 | 平成23年7月          | 評価結果市町村受理日 | 平成23年10月27日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 <http://www.hiroshima-fukushi.net/kohyo/index.html>

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                     |  |  |
|-------|---------------------|--|--|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 あしすと      |  |  |
| 所在地   | 福山市三吉町南1丁目11-31-201 |  |  |
| 訪問調査日 | 平成23年8月9日           |  |  |

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居されたご利用者が、早くに施設になじまれる。  
排泄管理を行うことをきちんと理解し、体調管理を行っている。  
冬場には、体に優しい暖房設備の下で、ゆったり・ほっこりとした生活を送っていただいている。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

自分らしく元気でゆったりほっこのんびり過ごしていただくことを理念とし、穏やかでゆったりとしたスローライフを支援されている事業所である。開設まだ浅い事業所であるが運営推進会議を定期的に開催し、幅広い参加者で構成され、事業所での取り組み内容や具体的な課題等も話し合い、それぞれの立場での意見を参考にされ運営に活かす取り組みを行い有意義な会議となっている。職員は皆さん明るくケアの向上に熱意を持ち、利用者本位でゆったりと見守り、残存機能を低下させないような支援に努め、今後さらに期待したい事業所である。

## Ⅴ. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項 目 |                                                    | 取 り 組 み の 成 果<br>↓該当するものに○印 |                                                                   | 項 目            |                                                                     | 取 り 組 み の 成 果<br>↓該当するものに○印 |                                                                   |
|-----|----------------------------------------------------|-----------------------------|-------------------------------------------------------------------|----------------|---------------------------------------------------------------------|-----------------------------|-------------------------------------------------------------------|
| 56  | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)     | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんど掴んでいない | 63             | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)   | ○                           | 1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 57  | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)           | ○                           | 1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                  | 64             | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                     | ○                           | 1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                  |
| 58  | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                 | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 65             | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | ○                           | 1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くいない           |
| 59  | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)   | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 66             | 職員は、生き生きと働いている<br>(参考項目:11,12)                                      | ○                           | 1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 60  | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 67             | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 61  | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)       | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 68             | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   | ○                           | 1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |
| 62  | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている<br>(参考項目:28) | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 特定非営利活動法人 あしすと |                                                                     |                             |                                                                   |

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己<br>外部   | 項目  | 自己評価                                                                                           | 外部評価                                                                      |                                                                                                               |                                                               |
|------------|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|
|            |     | 実践状況                                                                                           | 実践状況                                                                      | 次のステップに向けて期待したい内容                                                                                             |                                                               |
| Ⅰ.理念に基づく運営 |     |                                                                                                |                                                                           |                                                                                                               |                                                               |
| 1          | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている                             | 理念を基にした目標管理制度に取り組んでいる。                                                    | 法人理念と共に事業所理念を基に全体ミーティングで共有を図っている。職員個々で振り返ることもあり理念について意識をもって日々のケアに取り組んでいる。                                     |                                                               |
| 2          | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している                             | 施設イベントの案内を行うようにしている。また、入居者の散歩時等の出会う時には、声を掛けるようにしている。                      | 事業所で開催されるイベント案内を地域住民に配布し、参加していただける取り組みをしている。保育園児の訪問や地域ボランティアの受け入れ等も積極的に行っている。また近くの商店を利用することで顔なじみの関係作りに努めている。  |                                                               |
| 3          |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている                           |                                                                           |                                                                                                               |                                                               |
| 4          | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている        | 活動状況の報告をはじめ、意見交換しながらケア内容の充実と地域に根ざした施設作りに努めている。                            | 家族、地域代表者、民生員、近隣の事業所、市担当者、市議員、消防署職員等の参加のもと2か月に一度開催されている。詳細な状況報告や行事報告を行うことで事業所の実情を把握してもらい、助言を頂いたり情報交換の機会となっている。 |                                                               |
| 5          | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる                  | 必要時において、市職員等と連絡を行い、介護保険に関することなどを確認し、サービスの向上に努めている。                        |                                                                                                               |                                                               |
| 6          | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 玄関は開錠状態であるが、各居室には鍵を設けている。身体拘束の廃止については、職員も十分に理解し、やむなく行う場合は家族の同意を得るようにしている。 | 身体拘束をすることの弊害を理解し見守りを重視したケアに努めている。職員は情報について回覧で周知している。玄関の施錠せづ安全に配慮し自由な暮らしを支援している。                               | 身体拘束に関する勉強会を実施することで職員の共通認識を持ち、徹底理解されるよう計画的に勉強会を開催されることに期待したい。 |
| 7          |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている         | 全体会議等で定期的に啓発している。また研修会にも参加するようにし、事業所内での防止に努めている。                          |                                                                                                               |                                                               |

| 自己 | 外部  | 項目                                                                                             | 自己評価                                                                              | 外部評価                                                                                                  |                   |
|----|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |     |                                                                                                | 実践状況                                                                              | 実践状況                                                                                                  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8  |     | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している    | 高齢者に関する権利擁護は、個別において必要な状況が生じれば積極的に支援している。                                          |                                                                                                       |                   |
| 9  |     | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                         | 契約及び解約時には、入居者や家族にわかりやすいように担当責任者から十分な説明を行い、理解・納得を得るようにしている。                        |                                                                                                       |                   |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                     | ご意見及び苦情受付BOXを各フロアに備え付け、寄せられた意見等については、十分な検討を行い運営に反映するようにしている。                      | 家族訪問時に日々の暮らしぶりを伝える中で聞き取ることが多い。その中で出された要望や意見はフロアミーティングで検討しケアに反映させるとともにフィードバックするよう努めている。意見箱の設置もある。      |                   |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | 意見等は随時に受け付けている。また、全体会議やフロア会議等もその機会とし、運営に反映するように努めている。                             | 日ごろからコミュニケーションを図ることで何でも言える雰囲気にも努めている。またミーティングにおいても小さな意見でも出せるようにしている。運営者が個別に話を聞くこともあり、運営に取り入れるよう努めている。 |                   |
| 12 |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | 業務に特段の支障が出ない事を前提に、可能な範囲で調整に努めている。また、各職員に担当利用者を設定して、日々のケア方針の面談を行いモチベーションの向上に努めている。 |                                                                                                       |                   |
| 13 |     | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実践と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 各種研修会や、2ヶ月に1度行われている地域密着事業者交流会に参加し質の向上に努めている。また、定期的に施設内での勉強会も実施している。               |                                                                                                       |                   |
| 14 |     | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 地域密着事業所交流会を通じて、地域のグループホームの方との意見交換の実施や、同じ悩みでの研修会に参加している。                           |                                                                                                       |                   |

| 自己                  | 外部  | 項 目                                                                                  | 自己評価                                                                       | 外部評価                                                  |                   |
|---------------------|-----|--------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|-------------------|
|                     |     |                                                                                      | 実践状況                                                                       | 実践状況                                                  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 |     |                                                                                      |                                                                            |                                                       |                   |
| 15                  |     | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 相談から利用に至る過程において、担当責任者と本人と十分に話をした上で、不安や要望などに沿えるように努めている。                    |                                                       |                   |
| 16                  |     | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | 相談から利用に至る過程において、担当責任者とご家族と十分に話をした上で、不安や要望などに沿えるように努めている。                   |                                                       |                   |
| 17                  |     | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | 相談時にしっかりと話を伺った上で、他のサービスを含め考えられる支援について情報を提供している。                            |                                                       |                   |
| 18                  |     | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                        | 日々の生活の中で、これまでの生活の継続性を重視した役割作りに努めている。その中において個人を尊重し互いに支えあう関係作りに努めている。        |                                                       |                   |
| 19                  |     | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている         | 施設の方針として入居者に対しては、常に家族と共にある支援を心がけており、日々協力いただいている。                           |                                                       |                   |
| 20                  | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                     | ご家族のみならず、友人・知人の面会も行ってもらうことで、なじみの関係が途切れないように配慮している。                         | 友人や親せきの訪問やまた一緒に外出されることもあり、これまでの関係が継続できるよう配慮した支援をしている。 |                   |
| 21                  |     | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                 | 話し好きであったり、世話をやくのが得意な方に協力して頂く事で、互いの存在が認識できる場面を作るようにしている。その中で支え合えるように支援している。 |                                                       |                   |

| 自己                                 | 外部   | 項目                                                                                                     | 自己評価                                                                                  | 外部評価                                                                            |                   |
|------------------------------------|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|                                    |      |                                                                                                        | 実践状況                                                                                  | 実践状況                                                                            | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | 入院及び転居した後も、機会を設けてはお見舞いがてら訪問するようにしている。                                                 |                                                                                 |                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |                                                                                                        |                                                                                       |                                                                                 |                   |
| 23                                 | (9)  | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している                                           | センター方式を一部取り入れたアセスメント様式を活用して、本人の意向の把握に努めている。                                           | 利用者の生活歴、家族の希望を尊重し、普段の生活の中や表情で利用者の思いや希望をくみ取ることもあり、日々のケアに活かしている。                  |                   |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | 本人及びご家族、サービス提供事業者からの情報を元に、生活歴等を確認しその人らしい暮らしが送れる様に努めている。                               |                                                                                 |                   |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている                                                     | 日々の生活状況の観察及び記録を元に、全職員での情報共有に努めている。                                                    |                                                                                 |                   |
| 26                                 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 本人及びご家族の意向と日々の各種ケア記録及び担当職員の意見を踏まえたプランを作成している。また、状況の変化や本人及びご家族の意向に沿い、定期及び随時に計画を見直している。 | 本人や家族の希望を基に職員の意見を取り入れケアマネジャーが作成している。専用ノートを作り小さな変化も見逃さず記録し、モニタリングを行い次の計画に活かしている。 |                   |
| 27                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 日々のケア記録や経過表を全職員が目を通し、情報の共有に勤めている。また、記録を基にした計画の見直しを行っている。                              |                                                                                 |                   |
| 28                                 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | 入居者の状況に応じて、所属している看護師等の専門スタッフからアドバイスを受けることで、柔軟に対応している。                                 |                                                                                 |                   |

| 自己 | 外部   | 項目                                                                                                                  | 自己評価                                                                         | 外部評価                                                                     |                                                                                   |
|----|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
|    |      |                                                                                                                     | 実践状況                                                                         | 実践状況                                                                     | 次のステップに向けて期待したい内容                                                                 |
| 29 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                      | 必要に応じて各分野からの協力が得られるように働きかけを行っている。                                            |                                                                          |                                                                                   |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                  | 定期的な往診及び医療機関への受診の際には、職員も同行・帯同し適切な医療が受けられるように支援している。                          | 利用者の希望するかかりつけ医となり家族とも協力し通院の支援を行っている。定期的な往診もあり夜間体制についても出来ている。             |                                                                                   |
| 31 |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                          | 入居者の状況に応じて、所属している看護師に相談し、その状況にあった適切な看護処置を行っている。                              |                                                                          |                                                                                   |
| 32 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 24時間体制での医療連携体制は整っており、入院時においても、主治医との密接な情報交換を行い、早期治療に向けた取り組みを行っている。            |                                                                          |                                                                                   |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる  | 状態に応じて、ご家族と主治医及び職員と話し合いを行い、終末期の対応を検討するようにしている。                               | 重度化に向けた方針について重要事項説明書に明記し利用開始時説明をしている。利用者の状態により随時の説明や主治医の意見を基に話し合いがされている。 | 事業所のできる最大限の支援方法を再度職員間で話し合われるとともに勉強会を開催されるなど、利用者や家族のニーズをくみ取りながら体制をさらに整えられることが望ましい。 |
| 34 |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている                                              | 急変時や事故発生については、マニュアルに沿って対応している。応急手当や初期対応については、必要に応じて随時に看護師より指導・処置を受けるようにしている。 |                                                                          |                                                                                   |
| 35 | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている                                              | 年2回の火災及び防災避難訓練を実施している。                                                       | 避難経路の確認など具体的な訓練の実施がされている。周辺地域の理解協力はむしろ嬉しい面もあるが機会を見て今後も呼びかけていくこととされている。   |                                                                                   |

| 自己                       | 外部   | 項 目                                                                               | 自己評価                                                                                        | 外部評価                                                                                                         |                   |
|--------------------------|------|-----------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|                          |      |                                                                                   | 実践状況                                                                                        | 実践状況                                                                                                         | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 |      |                                                                                   |                                                                                             |                                                                                                              |                   |
| 36                       | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                    | 入居者の尊厳を大切にし、受容と傾聴を常に心がけるように職員に向け啓発している。帳票類に関しては、個人情報保護の観点に基づき適切な管理を行っている。                   | 敬意をはらった言葉かけをしている。利用者の居室へ入る時もプライバシーに配慮し丁寧に対応している。排泄についての言葉かけもプライバシーを損ねないよう配慮している。                             |                   |
| 37                       |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                      | できるだけ自然な感情や思いが表出できるように個々に合わせた支援を行っている。                                                      |                                                                                                              |                   |
| 38                       |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 1日を楽しく過ごせるように、できるだけ本人のペースや要望に沿うように支援している。                                                   |                                                                                                              |                   |
| 39                       |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                   | 基本的には、外に出での理容サービスを受けるようにしている。が、美容師資格取得者による施設内利用も行っている。その際には希望する髪形(パーマや毛染め含む)を伺い、対応してもらっている。 |                                                                                                              |                   |
| 40                       | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている      | 状況に応じて、準備から片づけまで、できることは職員と一緒に手伝っていただくようお願いしている。また、味付けの決定も行っている。                             | 個々の力量におおじて準備や片づけなど一連の作業を利用者が力を発揮できるよう見守りや支えあい職員とともに行っている。食事中は季節の食材について利用者が生活してきた思い出を引き出す会話の工夫をされた楽しい雰囲気であった。 |                   |
| 41                       |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている           | 個別に量の調整や食事形態の変更などの対応を行っている。水分量は1200～1500cc/1日を目安に確保してもらっている。(夏場はそれ以上に)                      |                                                                                                              |                   |
| 42                       |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                    | 職員は適切な口腔ケアが及ぼす健康維持への効果を理解し、毎食後に必ず口腔ケアを実施している。自立の方に対しても、必要に応じて口腔内の確認を行っている。                  |                                                                                                              |                   |

| 自己 | 外部   | 項目                                                                                                          | 自己評価                                                                                    | 外部評価                                                                                                      |                   |
|----|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |      |                                                                                                             | 実践状況                                                                                    | 実践状況                                                                                                      | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている                              | 排泄チェック表を元に、排泄パターンに添った対応を心がけている。また、できる限りトイレでの排泄を促している。オムツが必要な方には十分な検討を行い使用するようにしている。     | トイレでの排泄に心がけパターンを把握しさりげないトイレ誘導を行うとともに、焦らず利用者の状態に応じた支援に努めている。安易に薬に頼らず、水分摂取や野菜中心の献立にするなど、便秘予防にも務めている。        |                   |
| 44 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる                                              | 便秘の予防として、個々の排泄状況並びに食事及び水分摂取量の内容には常に気を配っている。また、一日の活動量も踏まえるとともに、排便間隔及び便の正常を常に確認するようにしている。 |                                                                                                           |                   |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている                        | 曜日ごとに一応の対応は決めているが、拒否の場合は無理をしないようにし、タイミングが合えば入浴してもらうようにしている。その場合の時間や曜日の変更は随時行っている。       | おおむね曜日は決まっているが、利用者の状態や希望で変更する場合もある。シャワー浴をされることもあり清潔保持に努めている。                                              |                   |
| 46 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している                                               | 個々の状況に応じて、休息場所やシングル居の検討を行っている。またメンタル的な不安要素等に関しては、安心していただけるまで付き添いを行っている。                 |                                                                                                           |                   |
| 47 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている                                          | 職員は、全入居者の服薬目的及び内容を理解し、適切な服薬支援に努めている。また誤薬防止の観点から複数人による確認体制と、個人別に服薬を渡し、飲用するまで確認している。      |                                                                                                           |                   |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                             | 体操や歌、塗り絵等のアクティビティーや洗濯たたみや野菜への水やり等の家事を、個々の状況に応じて負担にならないように配慮しながら行ってもらっている。               |                                                                                                           |                   |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 外出については、現在買い物や外食等、事前の計画に沿って支援をしている。可能な限り一緒に買い物に行くようにしている。また、面会時の家族同伴の外出も要望があれば行っている。    | 時候を見て散歩や庭に出て気分転換の機会をつくっている。また本人の習慣など踏まえ買い物に職員とともに出かけられる方もいる。計画を立て時期に応じた外出や全員で外食に出かけることもあり五感の刺激の機会をつくっている。 |                   |



| 自己 | 外部   | 項 目                                                                                                                              | 自己評価                                                                                        | 外部評価                                                                   |                   |
|----|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |      |                                                                                                                                  | 実践状況                                                                                        | 実践状況                                                                   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している                                                  | 入居者個人による直接的な金銭管理は行っていないが、希望する商品があれば、可能な範囲で一緒に買い物に行くようにしている。また、商品購入要望のみでも、購入し渡すようにしている。      |                                                                        |                   |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている                                                                           | 現在、入居者の方から手紙を出すようなことは無いが、電話連絡を要望される場合は、その都度施設の電話を使用し対応している。                                 |                                                                        |                   |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 入居者が集うリビングの採光は適切で、日中は明るい雰囲気を感じることができる。ソファ等も設置しくつろげるスペースとなっている。各箇所の清掃は毎日行っており清潔感を維持している。     | リビングには生花や家庭的な調度品もあり落ち着いて過ごすことのできる空間となっている。清潔が保たれ不快な臭いもなく温度や採光も適度である。   |                   |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている                                                      | 各フロアともテーブル及び椅子を設置したスペースが2か所とソファを配置したスペースが1か所あり、それぞれの入居者の思いにより自由に過ごせるようにしている。                |                                                                        |                   |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                                          | 入居時に、昔馴染みの身の回りの物や家具、調度品等を持って来て頂くようにしている。また、ポスター等も壁面に飾れるようにしている。                             | 利用者にとって馴染みのある物品が持ち込まれ安心して暮らすことのできる部屋となっている。利用者に合った配置がされ、それぞれが清潔にされている。 |                   |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している                                             | フロア内及びトイレ、浴室等には手すりを整備し、安全な生活が送れるようにしている。また、バリアフリーであり福祉用具の使用でも全く支障はなく、エレベータの使用で1階に降りることができる。 |                                                                        |                   |